



病院だより

NO. 261
Winter 2020.1



新年のご挨拶	2	年男・年女「子年」	6
産婦人科より 新年のご挨拶	3	あなたの街のお医者さん	7
特定行為研修を修了しました	3	INFORMATION	7
特集 整形外科/麻酔科	4	リウマチ内科の紹介	7
病院のできごと「秋」	6	れんけいニュース	8

病院の理念
良質な医療の実施
親切な医療の実施
信頼される医療の実施

介護保険の申請について

介護保険は、65歳以上の方および40歳から64歳までの方で脳血管疾患、パーキンソン病、関節リウマチ、末期がんなど16の決められた疾患が原因で介護が必要となるときに利用できます。65歳になると介護保険証が送られてきますが、そのままでは介護保険の自己負担割合（1割・2割・3割）でサービスを利用できず、どのくらい介護が必要か（要介護度）認定を受ける必要があります。申請手続きは住民票のある場所の役所または地域包括支援センター（地域ケアプラザ）で行い、決定までには1～2ヶ月かかります。元気な時は、先の話だと思っけていても特別養護老人ホームや介護老人保健施設など、公的な施設入所には要介護認定が必要なため、入所までに期間が必要です。日頃からご家族や地域の相談窓口などにご相談しておくことをお勧めします。

HOME PAGE



2020
HAPPY NEW YEAR

迎春



病院長
安藤 暢 敏

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

国際親善総合病院が関内から西が岡に移り、開院したのが1990年5月でした。本年は30年目の節目の年になります。この間、地域の皆さま、そして近隣医療機関の皆さま方からいただいたご交誼とご支援に、あらためてお礼申し上げます。

平成とともにこの地で歩みを進めてまいりましたが、平成の終わりに新館棟建設や本館棟改修整備工事が完了し、3テスラMRI導入や連続血管造影装置の更新など、大型医療機器の整備も終了しました。この期に当院は病院機能評価の更新審査を受審しました。病院機能評価とは住民の方々が安全で安心な医療を受けられるように、中立的・科学的な第三者機関により広く病院組織の管理運営や提供する医療の評価を受ける制度で、5年毎に更新審査が行われます。現在全国の約8,000病院の中で1/4の病院が認定を受けていますが、当院は1998年に神奈川県下で第1号の認定病院となり、今回が4回目の更新審査となりました。その結果、90の評価項目全てがB評価以上（A評価…82項目、B評価…6項目）で、とくに感染制御体制と病理診断機能の2項目ではS評価（秀でている）のお墨付きを頂きました。また急増する訪日あるいは在留外国人への対応として、外国人患者受入

れのために医療機関の環境整備の必要性が叫ばれています。当院も外国人患者対応力の強化策や院内標示、必要書類の多言語化などの作業を進め、昨年には外国人患者受入れ機関認証制度（JMIP）による認定を受けました。病院のルーツやその歴史、そして病院の名に恥じない外国人患者に対応しうる態勢を、さらに整備してまいります。

弥生台駅前にサテライトクリニックとして、“しんぜんクリニック”がオープンして2年が経過し、クリニックに付設する病児保育室やハピリ部門の利用も増えてまいりました。昨年末には相鉄線が都心に直結するJR乗り入れも始まり、この地域の人々の動きにも変化が生まれるでしょう。このような中で地域医療の中核病院として、病院の理念である良質で、親切で、信頼される医療を目指してこれからも精進を続けてまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

産科病棟では2017年に分娩が再開し、今春4年目を迎えます。
日々ご家族の皆さまとともに新しい命の誕生に喜びを感じられる場面に立ち合わせて頂けることは、スタッフ一同大変幸せなことであると感じております。
今年度も安全で信頼される良質な医療を目指し、皆さまにご満足いただける出産が出来ますよう努力してまいります。
さらなるご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和2年 元旦

謹んで新春のお慶びを

申し上げます



2C病棟インスタグラム
ご好評いただいています！



是非、ご覧ください！！

特定行為研修を修了しました

厚生労働省は、医療従事者の働き方改革や少子高齢社会に向け、看護師の特定行為研修制度を創設しました。特定行為は、診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるもので、38行為21区分となっております。特定行為研修を修了した看護師は、急性期から在宅、介護等の様々な現場で患者様の状態を見極め、タイムリーな医療・看護を提供する等の活躍が期待されています。私は2019年9月に特定行為研修を修了し、集中ケアモデル（5区分14行為…人工呼吸器関連・気道管理関連・動脈血液ガス分析関連・栄養水分管理関連・循環動態に係る薬剤関連）を修了しました。今後は研修で学んだことを一つでも多く患者さまに還元できるように頑張っていきたいと思っております。



特定認定看護師 山本 幸江

Orthopedics

整形外科

整形外科手外科センター部長

森田 晃造
もり た こう ぞう

略 歴

1995年 慶應義塾大学医学部卒業
 同年 慶應義塾大学整形外科学教室入局
 佐野厚生総合病院 国立埼玉病院
 大田原赤十字病院 慶應義塾大学病院
 慶應大学発生活分化生物学教室 留学
 川崎市立川崎病院 整形外科医長
 Kantonsspital St.Gallen (スイス) 手外科 留学
 Policlinico, University of Modena
 (イタリア) 整形外科 留学
 Columbia university medical center
 (アメリカ NY) 整形外科 留学
 2013年 国際親善総合病院 整形外科医長
 2019年 同 整形外科手外科センター部長

昨年9月に当院に手外科センターを開設して早1年強が過ぎました。
 当センターは手を含めた上肢疾患の専門センターとして横浜市西部地域で初の開設となりました。手を含めた上肢の治療は専門性が高いせいか、開設以来多くの患者さんが当院を調べて来院されたり、整形外科に限らず地域の多くの先生方からも患者さんをご紹介いただいております。

開設前からも多くの患者さんに受診していただいております。ご紹介いただく地域の範囲が広がったことです。最近では横浜市西部地域だけでなく港南区、中区や大和市、藤沢市など遠方からも来院される方が見られるようになりました。
 その理由として複数のメディアに当センターが掲載されたり、インターネットの普及により容易に診療内容の検索が可能となったことが挙げられますが、見方を変えればそれだけ手



のことでお困りの方が多くいらっしゃるとも言えます。
 受診患者数も増えるにつれて手術件数も並行して増加し、昨

年9月からの1年間で上肢手術だけで合計300件以上となり、県内の病院の中でも有数の手術件数に増加してきました。
 手の治療には専門的なりハビリテーションも非常に重要です。当院では専門性を持った作業療法士が計10名在籍しており、当院及び駅前のしんせんクリニックのどちらでも治療を受けられる体制が整っております。
 これからも「手のことでも困ったら親善病院」と思っていただけけるように努めていきたいと思っております。今後とも当センターをよろしく願っています。



Kozo Morita

Anesthesiology

麻 酔 科

麻醉科部長

佐 藤 玲 恵

さ とう なる え

略 歴

1989年 島根医科大学卒業
同年 昭和大学藤が丘病院 麻醉科入局
昭和大学救命救急センター助手
国際親善総合病院
昭和大学藤が丘病院助手
湘南鎌倉総合病院
昭和大学藤が丘病院 特別研究生
1996年 国際親善総合病院 麻醉科医長
2019年 同 麻醉科部長

Narue Sato

本年4月より、麻醉科部長を拝命し、他3名の麻醉科医と共にいっそう気を引きしめて手術に臨んでおります。

麻醉は手術を行うに当たり不可欠な医療です。もちろん苦痛なく手術を受けるために必要ですが、さらに、手術という大きな負担から患者さんの安全を守り、状況によっては手術中にも治療を施すという役割もあります。そのために麻醉科医は

「手術室内の内科医」と称されることもあります。

麻醉の方法は大きく分けて「全身麻醉」と「部分麻醉（脊髄も膜下麻醉、硬膜外麻醉、神経ブロック、局所麻醉）」があり、手術の術式、患者さんの全身状態（過去や現在の病気）、手術執刀医の要望、そして患者さん本人の希望などを総合して麻醉科医が判断・決定します。「全身麻醉」は、全身どの

部分の手術にも対応でき、手術中は完全に眠った状態です。麻醉薬は点滴で入れる静脈麻醉薬と人工呼吸で吸う吸入麻醉薬を使います。「部分麻醉」は、背中にある脊髄神経の近くや手術する部位の神経に局所麻醉薬を注射します。当院では各麻醉法を組み合わせて、副作用が少なくより効果的な麻醉を行うようにしています。

患者さん一人ひとりに合った麻醉法を選択するために、手術前には十分な検査、診察を行い、麻醉科内で話し合いをします。手術中は、一人の患者さんに対し必ず一人以上の麻醉科医が専属で担当し、常に麻醉の効き具合、心臓や肺などの全身状態を監視、調整しています。

私たちは、患者さんが安全に安心して手術を受け、元の生活に戻れるよう、これからも麻醉を通して努力していきます。





10月31日(休) 元気いっぱい!

はなみずき保育園ハロウィン

はなみずき保育園の園児たちがハロウィンの衣装を身にまわって病院へ遊びに来てくれました。「お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ!!」といろんな部署を歩き回り、元気いっぱいの姿を見せてくれました。今後の成長が楽しみです。



11月5日(火) いかなる現場でも冷静に

防災訓練

夜間、本館棟3階スタッフステーション内の薬品冷蔵庫付近から出火した想定で、泉消防署指導のもと初動対応確認および消防通報から被害状況報告、水消火器を使った消火訓練など職員一同で取り組みました。今後も非常事態に備えて安心できる療養環境を提供いたします。



11月12日(火) 横浜外国人墓地にて

墓前祭

幕末から明治頃にかけて、当院の前身であるジェネラルホスピタルに勤務した外国人医師たちが横浜外国人墓地に眠っています。医療のため遠い異国の地に殉じた先達に思いを馳せ、墓石を綺麗にして7名の墓前に慰霊の献花を行いました。



12月23日(月) 院長サンタと愉快的仲間たち

クリスマスイベント

毎年病棟で行っているクリスマスイベント。院長サンタとトナカイや愉快的仲間たちとともに入院している方々へクリスマスカードを手渡しました。みな笑顔でとても喜んでくださり、一緒に写真撮影をして有意義なひと時を過ごしました。




今年今年私達が主役だ!

米山 脩子 泌尿器科医長
「太陽は日々新しい」
一日一日を丁寧に、感謝を
忘れず頑張ります!



宮澤 雷太
画像診断・iVDR科医長
より一層、知識、技能の習
得に励み、地域医療に貢献
すべく努めてまいります。
よろしくお願いいたします。




小林 悠
中央手術材料室 看護師
今年も一年頑張ります!



増 渕 匠
リハビリテーション科
仕事や生活での失敗を厄年
の所為にせず、原因究明し、
対策を立てて次に活かせる
ような一年にします。



瀬戸山 遼
医療機器管理科
明るく元気に頑張ります!



三嶋 恵里花
4B病棟 看護師
今年も皆勤目指して笑顔で
元気に頑張ります!



中里 実咲
3B病棟 看護師
患者さんに信頼される看護
師を目指し、日々患者さん
に接しています。



中村 まりの
2A病棟 看護師
あけましておめでとうご
ざいます。今年も年女と
してねずみのように賢く
仕事とプライベートを充
実できるように日々精進
致します。




緑園内科・循環器科クリニック

相鉄いずみ野線
緑園都市駅
徒歩6分



はせがわ けんじ
長谷川 晴喜 院長

2000年に開業しました。病院勤務の頃、患者さんは「3時間待ちの3分診療」でしたので開業してからは、患者さんを待たせない工夫、努力をしています。各種健診、予防接種、高血圧、糖尿病、高脂血症及び狭心症、不整脈などを診ています。日ごろの診察の中では、長引く咳や腹痛などの背景に大きな病気が隠れていないかなど特に慎重に診察しています。少しでもおかしいと感じたら国際親善総合病院に紹介します。即、対応して下さるので患者さんも私共も大いに助かっています。患者さん一人ひとりのホームドクターとしての役目を果たすべく日々努めています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	○	○	○	—	○	○	—	—
15:00~18:30	○	○	○	—	○	○	—	—
9:00~13:00	—	—	—	—	—	—	○	—

休 診 日：木曜・祝日・土日の午後

交通案内：相鉄線「緑園都市駅」より徒歩6分、セカンドストリート横

緑園内科・循環器科クリニック

〒245-0002 横浜市泉区緑園5-29-10
TEL：045-813-8062
FAX：045-813-6695



INFORMATION

国際親善総合病院よりおしらせ

健康懇話会 | 会 場/国際親善総合病院
新棟2階講堂
時 間/15:00~

2020年
1月 2020年1月は休会となります。

2020年 解決！頻用と尿漏れ問題
2 / 14 ~明るい毎日過ごすために~
(金) 泌尿器科医長 米山 脩子

しんぜん院外健康教室 | 会 場/中川地区センター
時 間/10:00~

次回開催は2020年5月となります。

国際親善総合病院



特
色

2019年7月から火曜午後に専門外来をさせていただいております。主に地域の先生からの紹介、他科からの併診に対応してリウマチ診療を行います。

重篤な患者さんの場合にはリウマチ診療の専門的な入院加療ができる病院に転院いただくことも考えます。逆に症状が安定した患者さんについては地域の先生方と協力して一緒に診療させていただければと思っております。

- ★ FAX診察予約枠がありますのでご利用ください。
- ★ FAX診察予約患者が最優先となりますのであらかじめご了承ください。
- ★ 14:00~15:30まで受付。

医師名	専門分野・認定医等
非 常 勤 い はた あつし 井 畑 淳	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 JMECCインストラクター
	日本リウマチ学会専門医・指導医・評議員 難病指定医
	日本感染症学会専門医・指導医 ICD
	日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
	アメリカリウマチ学会 International Fellow
	アメリカ感染症学会 International Member
	アメリカ内科学会 International Member
	母性内科プロバイダー
	医学博士

がん緩和相談室

の紹介



日本人の二人に一人が「がん」になると言われています。

当院には患者さんやご家族が利用できる「がん・緩和相談室」があります。治療中の病気のこと、自宅・施設での過ごし方など、患者さんご家族の不安やお悩みに対して、緩和ケア認定看護師が対応します。

これからその役割についてご紹介いたします。

○緩和ケア病棟入院

お申し込み窓口

緩和ケア病棟への入院お申し込みを受け付けております。ご希望の方は主治医もしくははおかかりの医療機関にご相談ください。お申し

込みの流れについては当院ホームページをご参照ください。

https://www.shinzen.jp/palliative_care

○緩和ケア内科外来受診

緩和ケア病棟のお申し込みの後、緩和ケア医師による外来診察を受けることも可能です。



緩和ケア内科外来スタッフ

ご希望の方は、お申し込みの際に「緩和ケア外来受診希望」とお伝えください。

○緩和相談

「がん」に対する患者さんやご家族のお悩みに、緩和ケア認定看護師が対応いたします。

ご希望の方は患者相談室にて予約をお願いいたします。

地域医療連携部



地域医療連携室室長
鈴木 千夏

自己紹介リレー

4月より地域医療連携室室長に就任いたしました。外来の師長と兼務しております。患者さんの立場を考慮し、当院と地域医療機関とのスムーズな架け橋になれるように努めて参りたいと思います。

緩和ケアは終末期だけではなくありません。がんと診断されたその日から、その人らしく過ごせるように支援するのが、緩和ケアの役割です。

- ・外来に検査結果を聞きに来たら「がん」と言われた
- ・家族が「がん」と言われた
- ・これからの治療が心配だ
- ・生活はどうなるのか不安
- ・とにかくつらくて話を聞いてほしい

このような時に、ぜひご相談ください。



日本医療機能評価機構



ECO 活動推進



敷地内全面禁煙

